

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

八千代町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

茨城県結城郡八千代町

3 地域再生計画の区域

茨城県結城郡八千代町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、1995年の25,008人を頂点に減少傾向に転じており、2019年1月1日の住民基本台帳人口は21,180人であった。国立社会保障・人口問題研究所による推計では、2040年に17,633人まで減少すると予測されている。

年齢3区分別の推移をみると、1995年以降年少人口（0～14歳）及び生産年齢人口（15～64歳）は減少傾向にあり、2015年にはそれぞれ1,738人減（4,508人→2,770人）、2,753人減（6,086人→13,333人）となっている。一方、高齢人口（65歳以上）は増加し続けており、1,412人増（4,414人→5,826人）となっている。

人口減少の要因として、少子高齢化の進展に伴い自然減が加速していること、若年層が進学や就業などを機に町外に流出し社会減が続いていることが考えられる。

自然動態に関しては、2015年～2018年の出生数の平均が140人であるのに対し、死亡数の平均は約275人となっており、毎年120～140人程度の自然減が続いており、2018年は167人の自然減であった。なお、合計特殊出生率については、出生数などの標本数が少ないため、年によって変動がみられるが、国・県を概ね上回って推移しており、2002年は1.71で特に高く、2013年には1.65となっている。

社会動態に関しては、2015年は121人、2016年には20人の転出超過、2017年は96人の転入超過となったものの、2018年には再度269人の転出超過に転じている。年によって多少の変動が見られるが、2003年以降は概ね転出超過の傾向となっている。

このような状況が続くと、地域産業の衰退や地域コミュニティ活動の停滞などといった町民の日常生活や地域の経済活動への影響、町税の減少等により計画的な行財政運営が困難になるといった影響が懸念される。

八千代町における第1期総合戦略の検証からも、農業に関する生産流通環境や子育て支援環境など一定の成果が得られた分野も多い一方、定住や交流の促進、まちの資源を活用した魅力づくり・情報発信など、人口減少に歯止めをかける施策として、より効果が期待される分野の強化について、包括的かつ継続的に取り組むべき課題として認識されている。

これらの課題に対応するため、下記の4つの基本目標に掲げ、本町の実情に合った、八千代町らしさを大切にしながら施策を持続的に実施する。

基本目標1：若い人が定住できる『しごと』をつくる

基本目標2：八千代町への新しい『ひと』の流れをつくる

基本目標3：安心して子どもを産み育てられる『まち』をつくる

基本目標4：安全・安心な暮らしの実現と魅力ある地域をつくる

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	町内事業所の従業者数	7,454人 (2016年度)	7,550人	基本目標1
	新規就農者数(5年間累計)	27人	30人	
イ	「住みたい」町民の割合 ※1	63.9%	70.0%	基本目標2
	転入者数(5年間累計)	4,588人	5,000人	
ウ	出生数(5年間累計)	695人	750人	基本目標3
	「子育て支援策の充実」で満足と感じている人	37.6%	45.0%	

	の割合 ※1			
エ	「住みよい」と感じている町民の割合 ※1	52.8%	60.0%	基本目標 4
	「交通安全・防犯対策」で不満を感じている人の割合 ※1	12.5%	10.0%	

※1 町アンケート調査による。

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

八千代町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 若い人が定住できる『しごと』をつくる事業

イ 八千代町への新しい『ひと』の流れをつくる事業

ウ 安心して子どもを産み育てられる『まち』をつくる事業

エ 安全・安心な暮らしの実現と魅力ある地域をつくる事業

② 事業の内容

ア 若い人が定住できる『しごと』をつくる事業

多くの若者が町に定住できるよう、本町の基幹産業である農業の活性化を図るとともに、新たな雇用の場を創出する企業誘致の積極的な推進や、町内企業との連携強化による地元雇用を拡大する。

また、創業支援などにより、町民生活に不可欠な商業やサービス業の活性化を図る。

【具体的な事業】

- ・生産・流通体制の整備
- ・農業後継者の確保と担い手の育成

- ・八千代ブランドの推進・6次産業化の支援
- ・地元企業への支援
- ・企業誘致の促進
- ・地域における雇用の促進
- ・新規創業の推進 等

イ 八千代町への新しい『ひと』の流れをつくる事業

本町の農産物や農地を積極的に活用した交流活動を推進するとともに、空き家対策や住宅地の確保など、本町への移住や定住促進を図る環境整備を進める。

さらに、八千代町の魅力を全国に発信し、定住の第一歩となる町の魅力を活かした観光の振興や関係人口の創出に取り組み、本町への転入者の増加を図る。

【具体的な事業】

- ・都市農村交流の推進
- ・移住の推進
- ・空き家の利活用の推進
- ・地域資源を活用した観光の振興
- ・関係人口の創出
- ・ふるさとを愛する心の醸成と若者の交流支援、暮らしやすい定住環境の整備 等

ウ 安心して子どもを産み育てられる『まち』をつくる事業

結婚支援の充実、妊娠から出産、子育てへの切れ目のない支援の充実や、誰もがいきいきと活躍できる地域づくりの推進など、結婚を望む若者が希望を実現し、安心して子どもを産み育てられる環境の整備を進める。

【具体的な事業】

- ・相談体制の充実
- ・出会いの場づくりの推進
- ・妊婦、母子の健康づくり
- ・子育て環境の充実

- ・教育・保育環境の整備
- ・教育・保育内容の充実
- ・魅力ある職場環境づくり
- ・誰もがいきいきと働くことができる就業環境づくり 等

エ 安全・安心な暮らしの実現と魅力ある地域をつくる事業

地域の防災・防犯体制の充実など、定住環境の前提となる安全・安心な暮らしを確保する。

さらに、公共交通や道路体系の整備、利用しやすい公共施設の維持・確保など、住民にとって利便性が高く効率的な暮らしができる環境整備を進める。

【具体的な事業】

- ・消防団の充実強化と地域防災の充実
- ・防災体制の強化
- ・防犯体制の強化
- ・公共交通の確保
- ・広域的ネットワークの整備
- ・公共施設の整備と適正な維持管理
- ・ICTの利活用による情報発信 等

※ なお、詳細は第2期八千代町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

500,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度7月に外部有識者等で構成される八千代町まち・ひと・しごと創生戦略会議にて効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに八千代町公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

5-3 その他の事業

該当なし

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで